



余土地区まちづくり通信Vol.96

平成31年2月1日発行

余土地区まちづくり協議会 〒790-0044松山市余戸東4丁目4-34

☎090-8979-4101

HPアドレス：<http://www.yodo-machikyou.net/>

平成31年余土地区年賀交歓会 開催

平成31年余土地区年賀交歓会が1月5日（土）10時から余土公民館で62名の住民の皆さんが参加して開かれました。開会にあたり今田協議会長から「元気で住みよい余土のまちづくりに向け、行政・学校・各種団体と協議を重ね、更なる発展を目指したいのでご支援をお願いします。」との開会のあいさつのあと、松山市長からの祝辞（代読：津田松山市市民部長）がありました。



そのあと、津田松山市市民部長、池内市坪町内会長、田村保免町内会連合会長、玉井余戸町内会連合会長、今田まちづくり協議会長の5人が鏡開きをし、戸井田余土公民館長の乾杯の音頭で交歓会が開宴されました。今年の交歓会には、30、40代の若い人達の参加も見られ、活気にあふれた新春の集いとなりました。交歓会の最後には恒例となっている「新春お楽しみ抽選会」があり、当選番号が発表されると当選者が舞台に進み賞品を手にするなど大いに盛り上がり、最後は「余土村歌」を全員で合唱してお開きとなりました。

余土検定第3回講習会開催される！！



まちづくり協議会では、「余土の魅力づくり」事業の一環として、余土に関する100問に挑戦する「余土検定」試験の実施に先立ち講習会を実施していますが、その第3回講習会が1月27日（日）に余土公民館大会議室で34名が参加して開催されました。

今回は、余土村長などの村づくりに活躍した人や文化人などの余土の偉人編と「余土のあれこれ編」として人口の推移、余土の鉄道・橋・道路・河川や学校や中央公園に関する話などの多岐にわたっての話があり、参加者は2月10日（日）に実施される「余土検定」に備えて熱心にメモされていました。

余土を知ればもっと余土が好きになる

「余土検定」ものしり博士認定式開催案内

2月10日（日）に実施する余土検定を受けた方で合格点を取得した人に対し、「余土ものしり博士」の認定証を授与する認定式を下記のとおり開催いたします。なお、検定試験合格者の方にはハガキにて通知しますが、それ以外の方も参加できますので、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

日時 平成31年3月10日（日）10:00～11:30

場所 余土公民館 大会議室（2F）

《プログラム》

- (1) 「盲目の巨星・森盲天外」鑑賞会
- (2) 「余土検定」& 「余土ふるさとマップ」解説
- (3) 「余土ものしり博士」認定式



まちづくり文庫新刊紹介

直木賞受賞
芥川賞受賞

宝島 真藤順丈著
ニムロッド 上田岳弘著
1R1分34秒 町屋良平著

本屋大賞ノミネート作品
ノミネート作品揃ってます!!

愛なき世界
熱帯
ベルリンは晴れているか
ある男
さざなみのよる
そして、バトンは渡された
ひと
フーガはユーガ
ひとつむぎの手
火のないところに煙は

三浦しおん著
森見登美彦著
深野緑分著
平野啓一郎著
木皿泉著
瀬尾まいこ著
小野寺史宜著
伊坂幸太郎著
知念実希人著
芹沢央著

今話題の本

一切なりゆき
珈琲が呼ぶ
献灯使
ぼくは朝日
ことことこーこ
あなたの人生片づけます
THE LAST GIRL
天皇家99の謎
老人のライセンス
大相撲の不思議
パンじゃないサンド
青少年のための小説入門
おばあちゃんのえほうまき
十津川警部シリーズ
長崎路面電車と坂本龍馬
哀愁のミステリー・トレイン
出雲伝説と木次線
みそさえあれば
戦国武将を診る
草々不一
キンモクセイ
語り継ぐこの国のかたち
しょくぱんちゃん6しまい
キラキラッとほしがかがやきました

樹木希林著
片岡義男著
多和田葉子著
朝倉かすみ著
阿川佐和子著
垣谷美雨著
ナディア・ムランド著
歴史の謎研究会
松村友視著
内館牧子著
金丸絵里香著
久保寺健彦著
野村たかあき著
西村京太郎著

小島喜和著
早川智著
浅井まてか著
今野敏著
半藤一利著
ささきみお著
宮西達也著



余土公民館図書館は、毎週 月曜日・
金曜日10時から12時に貸出しています。
沢山の本がありますので、是非ご来館
ください。



各地区・団体からの情報コーナー

余土地区まちづくり協議会 広報公聴
委員会・教育文化委員会では、201
4年に作成した「余土ふるさとマップ」
のリニューアル版を作成中です。今年
度中には皆さまにお届けいたしますの
で、ご家族でご活用いただきますよう
お願いいたします。

「第2回 落語で初笑い！新春寄席」 開催！！



第2回「落語で初笑い！新春寄席」が1月4日（金）に 余土公民館大会
議室で開かれました。この新春寄席は、「日本の伝統話芸である落語の
楽しさ」と「正しい日本語だけで楽しい会話ができること」を子どもた
ちに伝えたいとの目的で開催しているもので、今回は、落語2席、漫才
1席の上演がありました。

まず、ひめさぶろうさんの落語「動物園の虎」が演じられた後、この春
から上京して本格的なプロの漫才師となることを目指している漫才コンビ
「まめしま」さんによる漫才がありました。そして、最後はらくさぶ
ろうさんの落語「転失気（てんしき）」が演じられ、参加したさくら児
童クラブ・余土児童クラブや地域の子どもたち約100人と大人約50
人が初笑いを楽しんでいました。

余土公民館だより

「平成31年余土地区成人式」開催！！

平成31年余土地区成人式が1月13日（日）に余土小学校体育館において開催されました。今年の成人式の該当者は、平成10年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた男性が128名、女性が113名の合計241名の皆さんで、当日は、男性103名、女性87名、合計190名の新成人が参加されました。

余土地区の成人式の開催にあたっては、若い人にも参画していただきたいとのことから、昨年、成人式を迎えられた仙波瑞基さんに司会を担当してもらいました。



式典は、余土総連太鼓会による太鼓の演奏で開会しました。そのあと、実行委員長の戸井田余土公民館長の式辞と松山市長のビデオメッセージによる祝辞があったあと、新成人を代表して、濱中淳之介さんと仙波朋花さんの「はたちのことば」がありました。その中で、濱中さんは、中学校を卒業したあとバレーボール強豪校である大阪の高校に進学を決断したときに当初反対していた両親が、全国で戦いたいというわがままを応援してもらい、この決断があったからこそ今の自分があるという話をされました。また、仙波さんは、これまで愛情深く育ててくれた家族や地域や先生方に対する感謝のことばと初心を忘れず成人として自覚を持って精進していきたいとの話がありました。このあと全員で記念写真を撮影したあとは、久しぶりに再会した友人や先生方との交流の時間があり、天候にも恵まれ、和やかに成人式が終了しました。



「余土地区レクリエーションバレーボール大会」余戸西Bチーム優勝！！

余土地区レクリエーションバレーボール大会が1月20日（日）に余土公民館体育室において開催されました。大会は、各地区から選抜された12チームが2グループに分かれて総当たりのリーグ戦による予選があり、合計30試合が行われました。その結果、北コートは、余戸中Aチームが5戦全勝で第1位となり、次いで4勝1敗の保免Aチームが第2位となりました。南コートは、余戸西Bチームが5戦全勝で第1位となり、第2位は3勝2敗が市坪B、保免B、余戸東Bの3チームとなりましたが、総得点により市坪Bチームが2位となりました。その結果、第1位の余戸中Aと余戸西Bで決勝戦が行われ、16-11で余戸西Bが優勝し余戸中Aが第2位。また、3位決定戦は、保免Aと市坪Bで争った結果、21-9で保免Aが勝利し、第3位になりました。



市政施行130周年記念 第63回松山市公民館研究大会 開催！！

市政施行130周年記念第63回松山市公民館研究大会が、1月26日（土）に松山市コミュニティセンターで松山市の公民館関係者が一堂に集い、「公民館がつなぐ人と地域の役割～若者による公民館活動のかたち～」を大会テーマにして開催されました。

大会では、平成30年度松山市公民館優良役職員の表彰があり、余土公民館からは前余土公民館長の森晴光さんと保免中分館主事の可部敏恵さんが受賞されました。



そのあと、松山市公民館連絡協議会主事部会が「公民館事業への若者世代の参加・参画について」をテーマにして昨年10月28日（日）に番町公民館で実施した「番町ハロウィンパーティー@おばけの館」での研究発表がありました。その中で、今後の公民館事業に若者世代の参加・参画を推進するためには、①ターゲットを絞ってそれぞれの世代に合った企画事業とする。②大学生等若者世代を企画運営から参加してもらい若者世代がしたいことを企画してもらうことが必要であるとの発表がありました。また、島根県飯南町頓原公民館主事の景山良一氏が、「「公民館」は「居場所」になるのか？」をテーマにした講演がありました。

《余戸南地区の野鳥たち》

本誌84号（平成30年2月1日発行）に掲載しました仙波日出夫さん（余戸南）が撮影した野鳥は、白黒印刷だったため、今回、カラー写真を掲載してほしいとの要望があったことから、再掲載いたしました。



カワラヒワ



メジロ



ジョウビタキ
(オス)



ジョウビタキ
(メス)



コゲラ



ツグミ



ヒヨドリ

《カワラヒワ》 スズメ目 アトリ科
体長 約14cm 鳴き声「キリリ、コロロ」

《メジロ》 スズメ目 メジロ科
体長 約12cm 鳴き声「チーチー」
目の周りの白い輪が特徴

《ジョウビタキ》 スズメ目 ツグミ科
体長 約13.5～15.5cm
オス：頭上が白く、目の周りが黒
メス：頭が淡褐色

《コゲラ》 キツツキ科 キツツキ科 体長 約15cm
鳴き声 「キッキッキ」（なわばりを主張時） 「ギーギー」（お互いを確認時）

《ツグミ》 スズメ目 ツグミ科 体長 約24cm
鳴く様子が見られない生態から口をつぐむの意で「ツグミ」と言われたと言われる。

《ヒヨドリ》 スズメ目 ヒヨドリ科 体長 約27.5cm
鳴き声 「ヒーヨ！ヒーヨ」（朝方は「ピッピッピピ」と鳴くことがある。）